

山下正廣先生のご退職に寄せて

東北大学大学院理学研究科 高石慎也

山下先生、ご退職おめでとうございます。私が山下先生と初めてお会いしたのは、2003年になります。私が筑波大学大学院で学位を取得後、当時東京都立大学におられた山下先生に CREST のポストドクとして受け入れていただいたのがきっかけです。私はもともと固体物理化学（池田龍一先生・北川宏先生）の研究室出身で、固体 NMR や中性子非弾性散乱を用いた研究を行っていたため、山下研に入った当初は錯体合成の経験は無く右も左も分からない状況でしたが、厳しくも暖かく見守っていただき錯体合成化学を一から学ぶことができました。その後、山下先生が東北大学に異動されるとほぼ同時に、私も東北大に異動し、その後 17 年間山下研究室の一員として研究・教育活動を行ってきました。外から見た山下先生のイメージはまさに破天荒といった感じでしたが、実際に山下研に入ってみると、非常に細やかなことに気を配っておられ、イメージとのギャップに大変驚きました。

私自身、一度は海外で研究をしてみたいと常々思っておりましたが、震災直後の 2011 年には、まだ研究室が完全に復旧しない中にもかかわらず、1 年間アメリカに快く送り出していただきました。また帰国後は、准教授として自由に研究させていただきました。山下先生のメッセージは一貫して「どんな研究をしてもいいが、人の真似だけはするな。誰もやっていないことをやらなきゃだめだ！」でした。大変ありがたい言葉でしたが、その反面、誰もやっていない研究領域を見つけることは簡単ではなく、大いにもがき苦しむことになりましたが、そのおかげで、ようやく最近になってそのコツのようなものが少しずつ見えてきた気がします。

山下先生は 2020 年 3 月でご退職されましたが、コロナウィルスの影響で最終講義を未だに開催できていないのが心残りです。一日も早くコロナウィルスが収束し、来春には対面で最終講義を開催できることを祈っております。これからは健康に気を付けつつ、研究を思う存分に楽しんでください。